

第7回 西蒲区自治協議会 会議録

日時：平成20年10月28日(火)

午前9時15分～10時25分

場所：巻地区公民館 3階 小ホール

司会 (赤川政策企画課 長補佐)	<p>定刻となりましたので、ただいまから平成20年度第7回西蒲区自治協議会の開催をお願いいたします。</p> <p>はじめに開会にあたりまして、如澤会長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
議長 (如澤会長)	<p>おはようございます。今日は第2回目の区内視察を計画しておりましたが、協議事項がいくつかありまして、いつもですと10時頃から会議が始まるのですが、9時15分という非常に早い時間に開会をさせていただきました。本当にご苦勞様でございます。</p> <p>3,4日前から急に寒くなりました。西蒲区の田を見ますと、まだ大豆の刈り取りが出来ていないようなところがありまして、心配をしているところがございますが、その内にいい天気になるのではないかと考えております。</p> <p>今日はあいにくのお天気でございますが、何とか明るくなってまいりましたので、視察が無事終わるのではないかと考えております。会議は10時30分頃までかかるとお思いますので、よろしく願い申し上げます、一言でございますがごあいさつに代えさせていただきます。よろしく願いします。</p>
司会 (赤川政策企画課 長補佐)	<p>続きまして、速水区長があいさつ申し上げます。</p>
事務局 (速水区長)	<p>おはようございます。早朝からご苦勞様でございます。10月に入りまして西蒲区でもいろいろな地域で文化祭を始めとした行事がございましたが、私の方からはその区内の行事あるいは区に関係することを少しだけお話ししまして、あいさつに代えさせていただきたいと思っております。</p> <p>先般、18日から22日までの5日間の日程で、全日本社会人ホッケー選手権大会が城山運動公園で開催されました。好天にも恵まれまして、大盛況の内に終了いたしました。来年の国体のリハーサルも兼ねて行ったわけでございますが、区内の観光協会、支援委員会、ボランティアの方々からたくさんお出でいただき、越王おけさ柿の試食等も併せて区のPRをしたところでございます。大変ありがとうございました。</p> <p>また、この30日から来月の3日までの日程で、東南アジアのタイ王国で新潟県の物産展が開催されるということで、西蒲区の越王柿も見本市に参加し、新潟市から2名がその売れ行き等を見に行つてまいります。これは、在日のタイの大使が篠田市長のところに来て、柿が大変人気があるという話をされ、そ</p>

	<p>の情報が区の産業観光課の方に入りまして、それでは行ってみようかということになりました。事前に業者の方から 300 kg くらい買っていていただき、その柿を船便で送っているという状況であります。成果については、斎藤課長がその 1 人としてまいりますので、後で報告してもらいたいと思っております。</p> <p>また、11 月に入りましたら、各地域にお邪魔いたしまして、地域コミュニティ協議会と区役所との懇談会を始める予定となっております。いろいろな情報あるいは要望等が出ておりますので、それについての話し合いをさせていただくという予定になっておりますので、よろしく願いいたします。以上でございます。</p>
<p>司会 (赤川政策企画課長補佐)</p>	<p>それでは議事に入る前に、本日の次第および資料の確認を行いたいと思えます。まず事前に郵送させていただきましたものが、会議の関連で次第と資料の 1 から 3、それと会議終了後の視察の関連で視察資料の 1 から 11 でございます。視察資料の 1 につきましては、会議の案内文を送付させていただいた時に同封しておりますのでよろしく願いいたします。この他に「教育フォーラム」のチラシと「にいがた共育通信」を同封させていただきましたが、これにつきましては、新潟市教育委員会から自治協議会の委員の皆さまへ配布の依頼があったものでございます。また、机の上に、会議の関連で資料 4 と視察の関連でバスの乗車名簿を配布させていただいております。</p> <p>資料は以上ですが、確認をお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは新潟市区自治協議会条例第 9 条第 1 項によりまして、如澤会長から議長として進行をお願いいたします。</p>
<p>議長 (如澤会長)</p>	<p>それでは私の方で議事を進行したいと思えます。はじめに本日の委員の出席状況につきまして事務局から報告をお願いいたします。</p>
<p>司会 (赤川政策企画課長補佐)</p>	<p>本日は委員 30 名のうち出席 23 名、欠席 7 名となっておりますので、新潟市区自治協議会条例第 9 条第 2 項の規定を充足していることをご報告申し上げます。</p>
<p>議長 (如澤会長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議事に入りたいと思えます。</p> <p>視察研修がございますので、できるだけ能率的に審議を進めてまいりたいと思えますので、委員の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>最初に議事の(1)の平成 21 年度特色ある区づくり事業につきまして、事務局より説明をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、総務課長お願いします。</p>
<p>事務局 (藤澤総務課長)</p>	<p>おはようございます。総務課の藤澤でございます。</p> <p>それでは、議事(1)平成 21 年度特色ある区づくり事業につきまして説明いたします。</p> <p>資料につきましては、「資料 1-1 特色ある区づくり事業への委員提案」、それから「資料 1-2 平成 21 年度特色ある区づくり事業について」というこ</p>

とで、2種類配布させていただいております。

最初に、「資料1-1 特色ある区づくり事業への委員提案」から説明いたします。委員提案につきましては、9月2日開催の第5回自治協議会をお願いしたところでございます。提案につきましては、お2人の方から3つの提案をいただきました。提案の内容を要約し、まとめさせていただいたものが資料1-1でございます。

それでは1つ目から説明いたします。時間の関係で要約説明ということにさせていただきますと思います。委員提案では、施設の使用制限、空き部屋の有効利用、施設の一括したシステムの構築、整備が出来ないかという提案でございます。この件についての区の考え方、対応といたしましては、施設の有効利用は、限られている施設を効率よく利用いただけるように、今後も検討していかねばならないと考えております。しかし、施設の予約システムがまだ限られておりますので、空き状況の確認や予約を一括して行うというところまでは至っておりません。今後、システムを順次拡大していく予定とされております。従いまして、今後とも各施設の有効利用が図られるよう、個別に協議を重ねていかねばならないと考えております。ちなみに、各公民館、スポーツ施設、国際友好会館、生涯学習センター、新潟市中央図書館が、公共施設予約システムで予約または空き状況の確認が可能な施設ということになっております。

続きまして2つ目の提案は、1つ目の提案に加えまして、歴史、文化施設への展示品等の充実ということで、区民の所有されている資料や情報、また季節の情報等を広く募集、収集してはどうかというご提案です。この件につきましては、区民の皆さまが所有されている資料、情報を提供いただけるための働きかけも重要ですので、取り組みを進めていきたいと考えます。従いまして、今後、区民の皆さまから情報を提供していただくための方法を検討させていただきたいと考えます。区の施設での展示が出来るのか、資料等を貸していただけるのか、購入のための予算が必要か等、まだ協議しなければならぬと考えておりますので、担当部署と検討させていただきたいと考えます。

3つ目の提案は、地域の伝統芸能とそれに関連して行っている行事を、区づくり事業の一環として支援を要請したいというものでございます。この件につきましては、まつりや伝統芸能を守り継承していくことは重要な課題であり、できるだけ支援していきたいと考えているところでございます。現在も鈴おどり保存会には合併以前と同じ金額が補助金として交付されております。しかし、保存会に直接補助金の増額や追加を行うということは出来ないことになっております。鈴おどりに直接の支援を行うということは難しいと考えておりますので、保存会が行っておられます取り組みを、コミュニティの取り組みというようなことで協議が出来ないものかということ、今後の協議とさせていただきたいと考えております。例えば、助成対象になるものとして、交付対象団体がコミュニティ協議会で、区内の地域コミュニティ協議会が行う地元学地域

	<p>のたから発掘活用事業について経費の一部を補助するというものがございます。こういうものの利用が出来ないかということ、一緒に考えていきたいということでございます。</p> <p>以上、3点のご提案がございましたので、区役所の考え方と対応案を述べさせていただきます。従いまして、平成21年度事業への直接的な反映は出来ませんでした。今後も引き続き検討をさせてもらいたいということで、ご理解をお願いしたいと思います。</p> <p>続きまして資料1-2をご覧ください。平成20年度からの継続事業が7事業ということになりました。事業費の増減が出ているものがありますが、考え方は平成20年度からのものと変わっておりません。内容につきましては、事前に配布させていただいておりますので、時間の関係から省略させていただきますと存じます。</p> <p>説明につきましては以上でございますが、是非、平成21年度の区づくり事業につきまして、ご承認をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>議長 (如澤会長)</p>	<p>ただいまの説明についてご質問やご意見がありましたらお願いいたします。</p>
<p>(異議なしの声)</p>	
<p>議長 (如澤会長)</p>	<p>よろしいでしょうか。それでは(1)の平成21年度特色ある区づくり事業につきまして、ご承認をいただいたということでございます。</p> <p>なお、委員の皆さま方から区づくり事業への提案がございましたが、今後とも検討をしたいということでございますので、そのことにつきましてご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>次に、議事(2)市外局番の統一に関する住民意向調査について、市役所企画調整課の遠藤課長がお見えですので説明をよろしく願いいたします。</p>
<p>事務局 (遠藤企画調整課長)</p>	<p>おはようございます。新潟市企画調整課長の遠藤でございます。貴重なお時間を頂戴いたしまして、説明の機会をいただきましたことにつきましてお礼申し上げます。</p> <p>それでは資料4に基づきまして、ご説明させていただきます。</p> <p>まず調査目的でございます。現在、新潟市では「025」、「0250」および「0256」という3つの市外局番が混在しているという状況でございます。これにつきましては、議会における一般質問、市長のまちづくりトーク、市長への手紙等で、統一についてのご意見等をいただいております。合併後3年が経っておりますので、今回、住民の皆さんがどのような考えをお持ちかということ把握するために、アンケート調査を実施することといたしました。</p> <p>調査対象といたしましては、資料の四角の中に記載していますが、西蒲区では住民基本台帳上17,000世帯くらいでございます。ただし、電話加入権の関係になりますと、潟東の五之上地区が除かれますので、一般世帯の対象としてはこれよりは若干少なくなるのではないかと考えております。それから事業所</p>

関係でございますが、西蒲区ですと 3,080 事業所でございますが、これにつきましても複数の電話加入権をお持ちの事業所もありますので、おそらくこれよりは若干多いのではないかとと思われます。

今回、アンケート調査を実施するにあたりまして、西蒲区の一般世帯と事業所、それから秋葉区の一般世帯と事業所ということで、4 種類のアンケート調査を行う予定となっております。この中で、各アンケート調査の客体を 1,000 としておりますが、これにつきましては、統計上、対象が何十万であろうとも 500 くらいのデータがあれば、大まかな傾向はつかめると言われています。それに基づきまして、1,000 通出せば、おそらく半分は回収出来るのではないかとということで、統計上の信頼出来る数値の 500 件を確保するという意味で、対象者数を各 1,000 件として調査をするということでございます。西蒲区においては、一般世帯 1,000 件、事業所 1,000 件、計 2,000 件ということでアンケート調査をさせていただきたいと考えております。

調査の方法といたしましては、一般世帯につきましては自由に何の制約もなく、皆さま方の生のご意見をお聞きしたいということで、全くの無作為抽出で 1,000 件の方を選びたいと考えております。それから事業所につきましては、今日、ご説明しました後に商工会議所にお邪魔いたしまして、そちらへお話をしたいと思っております。商工会議所と相談し選びたいと考えております。

今後のスケジュールといたしましては、議員への説明は終わっておりまして、本自治協議会で説明をさせていただいておりますが、区役所等へ説明し、商工会に説明いたしまして、その後については区役所で機会を捉えて説明をしていただきます。

区だよりの関係では、発行は第 1・第 3 日曜日ということになっておりますが、現在、私どもでは、12 月 1 日くらいに発送し、12 月 10 日提出締め切りというようなアンケートを予定しております。11 月の第 3 日曜日ですと少し早いのではないかとということから、12 月の第 1 日曜日である 12 月 7 日の区だよりで周知したいと考えております。12 月 7 日ですと、アンケートを既にお配りしておりますが、まだ提出していない方もいらっしゃるもので、その辺の意味を込めることと、また、アンケートが行かなかった方に対しても、このようなアンケートを実施しているということを周知する意味で、「アンケートを実施しています」という情報を載せたいと考えております。

それから資料の 1 番下の「 」でございますが、このような市町村合併等に伴う市外局番の統一についての総務省および NTT の考え方を載せてございます。

まず 1 番目といたしましては、「行政区画に合わせる変更であること」ということでございます。この行政区画というのは、新潟市であれば新潟市全域という意味でございます。今回、西蒲区と秋葉区で調査をさせていただきますが、仮に西蒲区で大勢の方から賛成をいただいた場合でも、秋葉区で反対ということですと、西蒲区だけ実施すればいいのではないかとということではなく、あく

までも新潟市全体の合意が得られて初めて、この統一がなされるということでございます。西蒲区、秋葉区しかも一般世帯、事業所の全てにおいて合意がなされて初めて統一されるということでございます。

それから2番目に、「自治体からの要望であること」ということでございます。NTTとしては100%の皆さんの合意をいただきたいということですが、今回の調査で合意が半分を超えたのでいいということではなく、ある程度の多数の合意をもって皆さま方の要望とみなすということでございます。

それから3番目の「事業者において技術的に対応可能であること」というのは、この事業者というのはNTTのことでございますが、NTTが市外局番を「025」に統一することが技術的に可能なかどうかということです。これにつきましてはもちろん可能でございますので、これは皆さま方の一致したご要望があればNTTに申し入れをするという状況でございます。

その後ろには具体的なアンケート用紙が載せてございます。

最初に一般世帯用でございます。表紙のところには今ほどお話ししたような趣旨が載っています。めくっていただきますと、西蒲区では「0256」という市外局番があるということと、現在は市内の通話料金は3分8.5円で、それ以外の市外では20円かかるという現状が示してございます。

仮に「025」に統一されるとなると、市外局番は「025」になります。市内局番につきましては、「0256-7 - x x x x」「0256-8 - x x x x」の「7」「8」がそのまま活かせればよいのですが、NTTは今のところ「67」「68」は難しいと言っておりますので、おそらく全く違う局番になるということでございます。

その辺の影響を以下に記載してございます。

まず1番目が今ほど申し上げましたとおり、局番が変わるということです。それから「市内」「市外」のエリアが変わります。

そして1番身近に影響すると思われる皆さま方の電話の通話料金が、現在は弥彦、吉田、分水等では8.5円がかかっているのが、これからは20円かかるということです。逆に、今まで新潟市内は市外扱いの20円にかけていたものが、今度は8.5円がかかるということです。それぞれ皆さまの通話先に応じて違いが出てくるであろうというところでございます。

それからダイヤル回線をお使いの皆さまにつきましては、住宅用ですと基本料金が100円上がるという影響が出てくるということでございます。

こういったいろいろなことをお考えいただいて、統一に賛成か反対かを調査するというところでございます。

それから次は事業所でございます。事業所につきましても同様に、局番が変わるということがあります。

それから「市内」「市外」の通話の区域が変わりますので、その事業所が得意先等の関係で吉田や分水、弥彦等を多く持っていらっしゃる、確かに負担が多くなるというようなことがあります。

	<p>それからダイヤル回線につきましては先ほどと同じでございます。</p> <p>それからもう1つ、事業系で異なるのが、企業の場合は支店をお持ちであるとか、頻繁に電話をかけるというようなところに専用回線を引いておられますので、その関係もございます。これはキー局との距離によって決まるという料金システムになっております。仮に統一されますと、旧新潟市内の方にキー局が出来ますので、新潟に近い方のところとの専用回線を持っておられるところは、専用回線料は安くなりますが、吉田や分水方面との専用回線をお持ちの企業ですと、ご負担は増えるというようなことになります。</p> <p>諸々各人のご事情はあると思いますが、その辺を勘案していただいて、生の声で「賛成である」「反対である」という調査をしたいと考えております。</p> <p>先ほど申しましたように、概ね12月1日から10日まで調査をして、その結果を基に次のステップに進むということを考えておりますので、この調査につきましてご協力をよろしくお願いいたします。私からの説明は以上でございます。ありがとうございました。</p>
議長 (如澤会長)	<p>ただいまの説明についてご質問やご意見がありましたらお願いいたします。星野委員お願いします。</p>
星野委員	<p>市としては、市外局番を統一したいというお気持ちであるのでしょうか。また、もし統一を行うとすれば、いつ頃を目途として計画をなされているのかについてお聞かせください。</p>
事務局 (遠藤企画調整課長)	<p>今ほどのご質問でございますが、私どもは中立の立場でございます。確かに市外局番を統一することは一体感の醸成になりますし、非常にメリットはあると思いますが、市といたしましては、あくまでも住民の皆さま方の大多数がそちらに向かうということであれば、それに基づいてNTTの方にお話することです。ただし、NTTと交渉している限りでは、あくまでもまだ仮定の話なので、そういった要望・合意がいただければ動くということですが、仮に合意が得られたとしてもいつから動くということについては、まだそこまで踏み込んだ発言をしてきていませんので、まずは皆さま方のお考えを調査することでございます。</p>
議長 (如澤会長)	<p>この調査につきまして、特に反対するというご意見はございませんでしょうか。</p> <p>それでは住民意向調査を実施することについて、了承するというところでよろしいでしょうか。</p>
(異議なしの声)	
議長 (如澤会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは次に、議事(3)水と土の芸術祭(仮称)につきまして、市役所のシティプロモーション推進課より近松課長がお見えですので説明をよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>シティプロモーション推進課長の近松と申します。本日は貴重なお時間をい</p>

<p>(近松シティプロモーション推進課長)</p>	<p>ただきましてありがとうございました。</p> <p>今日は、来年私どもが行おうとしております「水と土の芸術祭」の概要について、まだこの内容についてご存知ない方がほとんどだと思いますので、まず皆さんに知ってもらいたいということで、伺わせていただきました。</p> <p>この「水と土の芸術祭」につきましては、これをやろうとした背景も含めて、簡単に説明していきたくて考えておりますが、2009年は西蒲区にもゆかりの地がある「天地人」というNHKの大河ドラマが放映されます。それに加えて、9月からは「トキめき新潟国体」でこの西蒲区も城山運動公園がホッケー会場になっているということもありますし、来年の10月から12月にかけて、JR6社が協力して新潟県へお客様を運ぼうとデスティネーションキャンペーンが実施されるということで、来年はたくさんの方々が市を訪れる年になると思われれます。ただ、そのような状況が整っているだけでは、やはりもう少し足りないのではないかとということで、大勢の方が新潟市に注目する年にさせていただきたく、自らも何かを行うということで、「水と土の芸術祭」を開催しようと考えたものでございます。</p> <p style="text-align: center;">以下、パワーポイントによる映像を交えた説明</p> <p>なぜ水と土なのかということもございしますが、これは空から見た新潟市域全体の図でございしますが、ご存知のように信濃川、阿賀野川といった日本を代表する水量を持つ2大河川によって蒲原平野が形成されてきたということがあります。沖積平野ですので、昔から沼地のような土地だったところがございます。これは、昔、沼地を中心として行われていた稲作の風景でございしますが、ほとんどの地域でこのように水が溜まるような悪い条件の水田で稲作を行ってきたという歴史を持っているということで、これから1分くらい、その状況をご覧いただきたいと思っております。</p> <p style="text-align: center;">パワーポイントによるビデオ映像</p> <p>昭和20年代くらいまでは、このような農作業を新潟市全域で行ってきたということです。これは福島潟の方で再現されたフィルムだそうですが、これを見た時に、非常に誇張してあるのだらうと思ったのですが、年配の方にお聞きしたところ、これと全く同じで、このような作業をしながら皆で水田を作ってきたのだというお話を承っております。</p> <p>また、ほとんどが湛水地帯ですので、西蒲区も樋曾山隧道というような隧道が3本通っていますが、放水路等を作って乾田化していくという長い作業があり、先人の苦勞があったということでございます。</p> <p>そういうものを経て、今、私達が暮らすような美しい水田、景観が生まれましたし、都市の基盤も形成されてきたということで、まさに新潟市は水と土と先人が闘って作ってきた土地なのだということを、私達は再確認していきたくて思っています。</p> <p>また、そのような苦しい作業を癒すために、どのようなものが出来てきたかと言うと、蒲原平野には大変多くの神社がありますが、それらの神社にそれぞれ</p>
---------------------------	--

れ個性を持った神楽や獅子舞等が残されています。これは旧横越の江南区木津地区の棧俵神楽といって、獅子頭が藁や野菜で出来ているという、非常におもしろい芸能が残っています。西蒲区にもこのような特徴ある芸能がたくさん残っていると思っております。

そして、これは川蒸気船の航路を示した地図でございますが、こちらの方でいうと西川の周辺がありますが、文字が書いてあるところが全て川湊でございます。このような形で、水運でつながれたネットワークが昔から築かれていたということでございます。黒埼町も含めた15市町村が合併し、81万都市になりましたが、昔からそのようなネットワークで、中心部の湊町の新潟を支えていたという部分がございます。

そしてこの市全域を考えてみた時に、それを1つの言葉で表すと、先ほども見ていただいたような歴史を考えると、やはり水と土と闘ってきた新潟市というのが1つのキーワードになるのではないかと考えております。

まとめますと、新潟市は水と土によって生まれ、水と土と猛烈に闘って、そして水と土と共に生きてきた歴史を持っており、そして今の基盤を築いてきた歴史を持っています。私達はそこに誇りを持ち、水と土に感謝して、先人達に敬意を表し、ここから生まれた伝統芸能等の文化を大切に、次の世代に伝えていきたい。これが1つの大きな目的になります。

また一方で、全国的に文化・芸術によるまちづくりというものも注目されております。フランスのナント市の例をお話ししますと、ナント市は今年度中に新潟市と姉妹都市提携を結ぼうということで、現在、作業を進めておりますが、戦後の1960年代までは造船業で栄えた町だそうです。それが日本や韓国といった後発諸国の追い上げによって1970年代から非常に産業が廃れ、街が大変荒廃していったそうです。それを1990年代に新しく市長になった人が、地道にコツコツと、また集中的に行った文化・芸術によるまちづくりで、今ではフランスで最も住みやすいまちに選ばれています。このように文化・芸術でまちを活性化させたという実例がナント市にあるということでございます。例えばということで写真を見ていただきますと、どのようなことを行ったかといいますと、これは「ラ・フォル・ジュルネ(熱狂の日)」と呼ばれているそうですが、小さなクラシックのコンサートを数日間で700公演くらい連続して行い、非常にたくさんの人を集めているということであります。また、こちらは「ロワイヤル・ドゥ・リュクス」というナント市に拠点を置く劇団ですが、機械仕掛けで動く大きな象や大きな少女が町の中を劇場にして練り歩き、いろいろなパフォーマンスをしているのだそうです。これについても非常にたくさんの方が訪れて、町を活気づけているそうです。この他にも、町の至るところに芸術作品をきれいにコーディネートして飾るというようなまちづくりをして、非常に活気が戻ってきたという実例がございます。

また、日本でもこのような動きが非常に注目されておまして、先行する都市としては、私どもと関わりあいの深い開港5都市の1つである横浜市が、こ

ここに書いてあるような5つの事業を推進し、「クリエイティブシティヨコハマ」を1つの大きな目標に掲げまして、これを基に非常に活気のあるまちを作りだしているという実例があります。横浜市の他にも金沢市、仙台市、名古屋市、大阪市という都市で、文化・芸術によるまちづくりを標榜しているという事例もございます。

こういった2つの要素をまとめてやろうとしているのが、「水と土の芸術祭（仮称）」でございます。

事業主体としては、新潟市が中心になりますが、水と土の芸術祭（仮称）実行委員会を作り、ここを主体とするということで、これについては10月9日に設立総会を開催したばかりでございます。実行委員会が立ち上がったばかりということで、皆さまに内容をお知らせするのもこれが初めてというくらいでございますので、ここから逐次準備を進めていきたいと考えています。

開催期間につきましては、来年7月から12月27日までを2つのステージに分け、夏休みを中心とした子供にも関わってもらえる期間、それから9月19日の連休から進める国体やJRのデスティネーションキャンペーンと連携出来る期間の2つの期間としております。

事業費につきましては、実行委員会ベースで4億7千万円、うち市の負担が3億7千万円、残りの1億円は事業等で収入をあげるという計画になっております。

その4つの主な事業をご説明しますと、まず第1に、新潟市の歴史というものを再発見し、もう1回確認しようという「歴史文化の再発見」です。これについては新潟市内にすばらしい資料館、博物館がございますので、そういうものを連携して、工夫しながら見ていただくというものです。

それから「地域の魅力の発信」です。これにつきましては、既にある地域のイベントやまつり等と協力し合おうというもので、地域の人達から自分達で地域の良さをこのように見せていきたいというような事業提案をしていただいて、そこに助成したり、一緒に取り組んだりしていきます。

それから地域を見てもらうきっかけとして、「ランドアート（屋外芸術作品）」等を拠点に置いていきたいと考えています。

それから2つある美術館で水と土をテーマにした展覧会を一緒に開催しようということで、新潟市域全体で行っていききたいと考えています。

これは私どもで今考えているもので、いろいろなゾーンを決めて、それぞれの地域を見ていただきたいということで、3つにゾーニングしております。「砂丘と海」のゾーン、こちら西蒲区は「砂丘と海」のゾーンに入っております。それから「田園と農」のゾーン、こちらにも西蒲区で入っている部分がございます。もう1つは阿賀野川と秋葉山丘陵を中心とした「川と里山」のゾーンです。薄い緑色で大きく囲ってある丸が1つの拠点ということで、現在、10箇所くらいを考えております。ここにアート作品をおいて、大体1時間から2時間くらいで見ていただけるような感じにしようということです。

西蒲区で緑色の丸をつけているのは、福井地区の近く、樋曾山隧道がある辺りです。そちらには、樋曾山隧道が3本入っておりますし、福井集落に古い民家も残っておりますし、土産物屋もありますし、ホテルの里もあるというようなことで、自然も見えていただけるし、地域の歴史を感じていただける場所ですので、そういうところに拠点としてアート作品を置くことによって足を運んでもらうということです。それで、オレンジ色に示したようなルート図で回遊していただくというようなことで考えております。

総合しますと、この芸術祭が目指すものとしては、市民が地域にある水と土の宝物を発掘して、光を当て、ネットワークを組むことで、大勢の市民に宝物を確認していただきたいと。また、楽しんでいただき、そして誇りに思っただきたい。

2つ目に、芸術祭を通じて、地域に眠っている水と土の記憶を呼び起こして、豪農、河湊、農民文化や豪商、柳都、湊町文化等の水と土の文化を国内外にアートを使って発信していきたい。

もう1つが、新潟の地域文化や食文化を支えている方に光を当て、新しい文化を創造していく方々を支援していきたい。子供達や若者を育てるイベントにしたい、次の世代につなげたい、そういう希望を持っております。

ということで全体の説明はここまでですが、私達が地域に出て、市民の皆さんにお話をさせていただく時に、お願いしていることがございます。そのお願いもここでさせていただいて、最後にしたいと思えます。

1つ目は、「水と土の素敵発見」ということで、例えば田植えの風景や柿をもいでいる風景等の古い写真があると思いますので、そういうものを集めていきたい、皆さんからも提供いただきたいということ。また、昔はこうだったというような実話を聞き書きしたい、あるいはこのようなことが記録に残っている、父の日記に残っているというものを集めていきたいということ。そして、そういうものを集めて、再構成をして、皆さんに見てもらう機会を作りたいと思っています。これは写真の例ですが、これは大正6年の曾川切れの時の写真です。それからこれは日記やハガキや手紙を聞き書きしている実際の風景でございます。

2つ目のお願いは、拠点で作るアートの作品を一緒に作ってくださいということです。皆さんの理解を得ないと屋外作品は出来ませんので、皆さんから協力させていただいて、皆さんで作っていただき、そして愛着あるものにしていきたいと考えております。1つの例として、稲架に布をかけて1つの作品にしてあるわけですが、この布に刺繍がしてありますが、その刺繍についてはこの作品が展示されている地域の皆さんが、それぞれに思い思いの事柄を自分たちで刺繍したということで、作家と地域の人が一緒になって作品を作ったというような実例でございます。また、地域の人とこのような形で交流も深められるのではないかと考えてございます。

3つ目のお願いは、地域のツアーガイドになっていただきたいということ

	<p>で、一緒に作った作品の解説や、「この地域にはこんなものがある」、「こんな食べ物が美味しい」というような地域の魅力を、現場で説明してくれるようなご協力をお願いできないかということでございます。</p> <p>最後の4つ目の願いは、連携出来るイベントを教えてくださいということなんです。私達もいろいろと探しており、区役所の皆さんからもいただいておりますが、その他にもまだあるということで、「このようなことをやっている」ということを教えていただきたいということと、地域の魅力を自分たちで発信するイベントを企画、提案してくださいということです。そして私達と一緒に取り組む、あるいは支援していくという方向に向けていきたいと思っています。</p> <p>まだまだ走り出したばかりで、何も決まっていない状況もありますが、これから全力を傾けて準備を進めてまいりたいと思います。本日はお時間をいただきまして、どうもありがとうございました。</p>
議長 (如澤会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>早速ですが、ただいまの説明につきまして何かご質問やご意見がございましたらお出しいただきたいと思います。</p> <p>星野委員どうぞ。</p>
星野委員	<p>このような芸術祭は十日町市を中心にして行われており、地域発信に役立っているようです。新潟市も「政令指定都市新潟」を発信するには、非常にこの芸術祭に期待するところが大きいのですが、あまり構想が大きくて市議会議員にいろいろと苦言を付けられたり、また予算規模・内容も縮小されたと同っております。特に予算や内容について、著しく縮小したという点があればお聞かせいただきたいと思います。</p>
事務局 (近松シティプロモーション推進課長)	<p>ただいまご質問のありました最後の点の予算額の縮小ですが、2月定例会で私どもが上程しました実行委員会ベースの全体経費予算は6億8,000万円で、その後、最終的に議会の方にご説明した数字が全体経費で4億7,000万円でございます。</p> <p>ただし、これにつきましては事業を縮小するということではなく、様々な部分を地域との連携や既存の施設を活用させていただくというような方向へ転換したということがございます。目的を変えずに同じような効果を上げるため、地域に既にあるものも活用するというところで工夫したものでございます。以上でございます。</p>
議長 (如澤会長)	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>なければ、最後にお願いがありました4つの件について、皆さん方からもご協力いただきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事のその他にまいりたいと思いますが、事務局から何かございましたらお願いいたします。</p> <p>それでは、政策企画課長お願いいたします。</p>
事務局 (水倉政策企画課長)	<p>私からは議事4のその他といたしまして、2点ほどお願いと報告をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>

最初に、事前配布させていただいておりました資料3の関係で、新潟市区自治協議会委員研修会につきましてお願いをさせていただきたいと思っております。

事前に配布させていただいておりましたので、既にご覧いただいている方も多いかと存じますが、なかなか忙しくてご覧いただけなかった委員もいらっしゃると思われまますので、簡単にこの研修会開催の趣旨等につきまして説明させていただきます。

区自治協議会が発足してから1年半余りが経過いたしまして、日頃の協議を重ねる中で、様々な悩みや課題も感じられていることと思われまます。こうしたことから、この度、各区の委員が集い、相互に意見や情報を交換しながら、それらを共有する場を設け、今後の取り組みに活かしていただくことといたしまして、こうした研修会を計画させていただいたところでございます。日時につきましては、平成20年11月19日(水)の午後2時から午後4時15分までを、それから会場につきましては秋葉区役所6階会議室を予定しております。また、研修会の内容につきましては、前半の部で地元の新潟大学の教授であり、西区の自治協議会会長でもある松原幸夫さんから、仮の演題といたしまして設定しておりますが、「今後の区自治協議会のあり方を考える～よみがえる地域連携～」と題してご講演いただき、その後、グループ別座談会として5つのテーマ毎に分かれて話し合ってくださいことを計画しております。

以上が研修会の概要でございますが、この研修会の出欠につきまして、事務局から事前送付させていただきました資料では、11月7日までに出席等連絡票でご連絡くださるようお願いしておりましたが、出席・欠席の意志が既に決定されている委員の方がいらっしゃいましたら、誠に恐縮でございますが、今日ご提出いただければ、事務局としては大変助かりますので、ご協力をお願い申し上げます。なお、出席等連絡票をお持ちでない委員の方につきましては、連絡票を準備しておりますので、事務局にお申し付けいただきたいと思います。よろしくお願いいいたします。

次に、2点目でございますが、健康福祉課と産業観光課におきまして、指定管理者に管理をお願いしております施設の管理期限が間もなくまいりますことから、これらの施設につきまして、改めて指定管理者の公募を予定しております。

区自治協議会の必須意見聴取事項として、今まで直営していた施設を指定管理施設に移行する際には、委員の皆さまのご意見を聞くことが義務付けられておりますが、既に移行している施設の指定管理に関する事務につきましては、意見聴取の義務付けはございません。従いまして、今回の期間満了に伴っての指定管理者の募集に関する問題につきましては、報告等の義務付けはございませんが、今後、新規に指定管理施設へ移行する施設が出てきた場合の何らかの参考になればということから、これらの施設の指定管理事務につきまして、簡単に担当課長の方から説明させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいいたします。後は担当課長の方に譲りますので、お願いいいたします。

議長 (如澤会長)	それでは健康福祉課長お願いします。
事務局 (金子健康福祉課長)	<p>それでは健康福祉課の方からご説明させていただきます。</p> <p>当課で所管する施設の内、平成 21 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 3 年間について管理運営をお願いする指定管理者につきましては、該当する施設が 7 施設ございます。</p> <p>その施設は西川地区におきましては、老人福祉センター西川荘、西川高齢者ふれあいセンター、西川社会福祉センターの 3 施設となっております。巻地区におきましては、老人福祉センターの得雲荘および蛭雪荘、それから巻ふれあい福祉センターの 3 施設となっております。中之口地区では、中之口老人福祉センターの 1 施設で、合わせて 7 施設となっております。</p> <p>この指定管理者の決定につきましては、市議会の議決が必要となります。その関係で、この議案を 12 月の市議会に上程するため、現在、区長を委員長とする指定管理者候補者選定委員会におきまして、応募のございました事業所について候補者の選定をお願いしているところでございます。以上でございます。</p>
議長 (如澤会長)	次に産業観光課長お願いします。
事務局 (斎藤産業観光課長)	<p>関連いたしまして、産業観光課所管の施設につきまして報告をさせていただきます。</p> <p>新潟市ほたるの里交流館は、オープンした平成 18 年度より、施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上、経費の削減を図るため、指定管理者制度を導入しております。この度、導入から 3 年を経過し、管理者を更新することになりまして、次期管理者候補を決定するため選定委員会を開催いたしました。8 月 17 日から公募を開始し、応募者は現在の指定管理者であります株式会社福井開発 1 社でありました。10 月 17 日に公開プレゼンテーションおよび選定委員会を開催した結果、指定管理者としての実績もあり、効率的な管理および利用が見込めることから、株式会社福井開発を候補者として選定したところでございます。</p> <p>現在、市ホームページにおいて結果を公表しており、今後、12 月市議会の審査、議決を経て、指定管理者に指定される予定となっております。以上、ほたるの里交流館指定管理者候補者選定委員会の開催について報告をさせていただきました。</p>
議長 (如澤会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>政策企画課長からは、自治協議会委員研修会の出欠等につきまして、出来れば今日出していただきたいということでございますので、終わりましたらお出しいただきたいと思います。</p> <p>それから健康福祉課長と産業観光課長から指定管理者について説明がありましたが、何か質問はございますでしょうか。</p>

	<p>なければ、次にフリートークになるわけですが、今回はフリートークとして発言を予定されている委員の方はいらっしゃいませんが、山賀委員の方から、先月行いました防災訓練の関係で少しお話があるそうですので、よろしくお願ひいたします。</p>
山賀委員	<p>松野尾地区のコミュニティ協議会の山賀でございます。</p> <p>先月の9月28日に自主防災訓練をさせていただきましたが、たくさんの皆さまに出席をいただきましてありがとうございました。</p> <p>元々、5月3日に地域でボヤ騒ぎが3件連続で短時間の間にありまして、その辺からどうにかしなければならぬという機運が盛りあがりまして、自主防災組織を作ろうということで始まったのですが、今になってみると「災い転じて福となす」となった感じがいたします。</p> <p>当日は天候にも恵まれまして、西蒲区の区役所の皆さん、特に総務課には非常にお世話になりまして、準備等いろいろなことを指導していただきまして、何とか実施することが出来ました。</p> <p>地域としては2,100名くらいの方がいるのですが、当日は350名くらいという非常にたくさんの方に出させていただきました。役に立った、良かったという声がありましたので、我々の方としても一安心をしているところです。</p> <p>当日はヘリコプターも来る予定だったのですが、佐渡の方で緊急事態が発生したということで来られなくなりまして、そういうちょっとしたトラブルはありましたが、総じて良かったのではないかと考えております。</p> <p>この度の訓練にあたりまして、区役所の皆さま、それからたくさんの協議会の皆さまにも出席をいただきまして、この席をお借りして、一言お礼を申し上げたいと思います。誠にありがとうございました。</p>
議長 (如澤会長)	<p>私も参加させていただいたのですが、非常に意義深かったのではないかと考えております。大変ご苦労様でございました。</p> <p>では議事の方はこれで終わりたいと思いますので、進行を事務局にお渡しいたします。ありがとうございました。</p>
司会 (赤川政策企画課 長補佐)	<p>それでは続いて、次第の4のその他ということで、事務局の方から連絡をさせていただきます。</p> <p>次回の会議日程につきまして、12月2日(火)の午後でお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか</p>
(異議なしの声)	
司会 (赤川政策企画課 長補佐)	<p>それでは12月2日(火)ということで決定させていただきたいと思います。会場につきましては、巻地区公民館を予定しております。また、その後の部会につきましても、同じく巻地区公民館での開催を予定しております。</p> <p>なお、12月2日は部会終了後に忘年会を兼ねた懇親会を計画したいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。なお、時間および会場については、会長と事務局で相談の上で決めさせていただくということで、ご一任いただきたいと思います。</p>

	<p>ご案内につきましては、改めて文書を送付させていただきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それではここで如澤会長より閉会のごあいさつをお願いいたします。</p>
議長 (如澤会長)	<p>大変大事な議事ございましたけれども、皆さまのご協力を持ちまして時間内で終了することが出来ました。大変ありがとうございました。</p> <p>また、12月2日の午後に次回の会議を設定することになりましたが、私も加わりまして、懇親会を兼ねた忘年会をやってはどうかという提案をさせていただきましたが、皆さんからご賛同いただきましてありがとうございました。そのような形で事務局の方で運営をさせていただきますので、お出でいただきたいと思っております。</p> <p>これから研修視察でございますが、よろしくお願いたします。</p>
司会 (赤川政策企画課 長補佐)	<p>ありがとうございました。それではこの後、視察研修に向かいますが、出発の時間につきましては、10分後の10時35分に出発とさせていただきますと思います。本日本配布いたしましたバスの乗車名簿をご確認いただき、出発時間の少し前になりますと、バスが巻文化会館の正面に2台停まりますので、ご自分の乗る号車の方にお集まりいただきたいと思っております。</p> <p>また、名札につきましては、ここに置いていっていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。以上でございます。</p>